

芳幾・芳年

一国芳門下の2大ライバル

開催要項

1. 概要

落合芳幾（1833-1904）と月岡芳年（1839-1892）は、江戸後期を代表する浮世絵師、歌川国芳（1798-1861）の門下とともに腕を磨き、慶応2-3（1866-67）年には、幕末の風潮を反映した残酷な血みどろ絵を共作しました。良きライバルとして当時は人気を二分した二人ですが、芳幾はその後発起人として関わった「東京日日新聞」（毎日新聞の前身）の新聞錦絵を描く一方、芳年は国芳から継承した武者絵を展開し、歴史的テーマの浮世絵を開拓しました。

人生半ばの30歳前後で明治維新を迎えた二人は、最後の浮世絵師と呼ばれる世代です。浮世絵衰退の時代にあらがうべく、彼らがどのように闘ったのかを、浅井コレクションをはじめとする貴重な個人コレクションを中心に振り返ります。

2. 開催期間

2023年7月8日（土）～8月27日（日） 44日間

休館日 月曜日

（ただし月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日が休館）

開館時間 9時30分～17時30分（入館は17時まで）

3. 会場

北九州市立美術館本館 〒804-0024 北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町21-1

4. 主催等

主 催：芳幾芳年展実行委員会（北九州市立美術館、毎日新聞社）

後 援：TNC テレビ西日本、九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、北九州モノレール、筑豊電気鉄道株式会社、株式会社スターフライヤー

特別協力：浅井コレクション

5. 観覧料

一般 1300（1000）円／高大生 800（600）円／小中生 600（400）円

※（ ）内は前売りおよび20名以上の団体料金

Ukiyo-e Masters at the Dawn of Modernization

YOSHITOSHI

YOSHIOBU

芳 幾 芳 英

北九州市制60周年記念
国芳門下の2大ライバル

2023

7/8 土 → 8/27 日

※会期中、一部展示替えをします。

◆ 芳幾《太平記英勇伝 左枝犬喜代》(部分) 慶応3年(1867) 浅井コレクション

◆ 芳英《芳年武者无類 源牛若丸 熊坂長範》(部分) 明治16年(1883) 浅井コレクション

北九州市立美術館 **本館**
Kitakyushu Municipal Museum of Art

〒804-0024 北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町21-1
TEL:093-882-7777
<https://www.kmma.jp>



開館時間=9:30~17:30(入館は17:00まで) 休館日=月曜日

観覧料=一般1300(1000)円、高大生800(600)円、小中生600(400)円
(ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館) ※8月7日(月)は特別開館します。

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。なお障害者手帳を提示の方は無料。北九州市在住の65歳以上の方は2割減免(公的機関発行の証明書等の提示が必要)。※前売り券は、公式オンラインチケット(美術館サイトより)、ローソンチケット(ローソン、ミニストップ)、チケットぴあ(セブン-イレブン)、セブンチケット(セブン-イレブン)、e+イープラス(ファミリーマート)、小倉井筒屋、北九州モノレール主要駅で販売。※オンラインチケット、ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケット、e+イープラスについては、展覧会開催中は当日料金での販売となります。

主 催 = 芳幾芳年展実行委員会(北九州市立美術館、毎日新聞社) 特別協力 = 浅井コレクション
後 援 = TNCテレビ西日本、九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、北九州モノレール、筑豊電気鉄道株式会社、株式会社スターフライヤー



北九州市制60周年記念

芳幾 芳年

YOSHIKIU YOSHITOSHI

2023 7/8土 ↓ 8/27日

※会期中、一部展示替えをします。

国芳門下の
2大ライバル



落合芳幾(1833-1904)と月岡芳年(1839-1892)は、江戸後期を代表する浮世絵師、歌川国芳(1797-1861)の門下で腕を磨き、慶応2-3(1866-67)年には、幕末の風潮を反映した残酷な血みどろ絵を共作しました。良きライバルとして当時は人気を二分した二人ですが、芳幾はその後発起人として関わった「東京日日新聞」(毎日新聞の前身)の新聞錦絵を描く一方、芳年は、国芳から継承した武者絵を展開し、歴史的テーマの浮世絵を開拓しました。

人生半ばの30代前後で明治維新を迎えた二人は、最後の浮世絵師と呼ばれる世代です。浮世絵衰退の時代にあらがうべく、彼らがどのように闘ったのかを、浅井コレクションをはじめとする貴重な個人コレクションを中心に振り返ります。

- ◆ 芳幾(英名二十八衆句 十木伝七)(部分)慶応2年(1866) 西井コレクション
- ◆ 芳年(英名二十八衆句 高倉屋助七)(部分)慶応3年(1867) 西井コレクション
- ◆ 芳幾(柳若気競きん八)(部分)明治3年(1870) 惠コレクション
- ◆ 芳年(東京自慢十二月月 七月 廓の燈籠 仲之街 小とみ)(部分)明治13年(1880) 北九州市立美術館
- ◆ 芳幾(歌舞伎新報 1630号)明治29年1月28日(1896) 惠コレクション
- ◆ 芳年(矢嶋大合戦之図)明治14年(1881) 浅井コレクション
- ◆ 芳幾(東京日日新聞 百一十一号)明治7年10月(1874) 毎日新聞社新屋文庫
- ◆ 芳年(郵便報知新聞 第六百八十三号)明治8年8月(1875) 毎日新聞社新屋文庫
- ◆ 国芳(六様性国芳自慢 先負 文藝上)万延元年(1860) 浅井コレクション



Ukiyo-e Masters at the Dawn of Modernization

関連イベント ※申し込み不要、本展観覧料が必要です。

学芸員によるギャラリートーク
7月21日(金)、8月4日(金)、8月18日(金) 14:00~(30分程度)

同時開催 ※別途観覧料が必要です。

本館
コレクション展 I
特集 具体 白髪一雄 -尼崎市コレクション
開催中~8月13日(日)

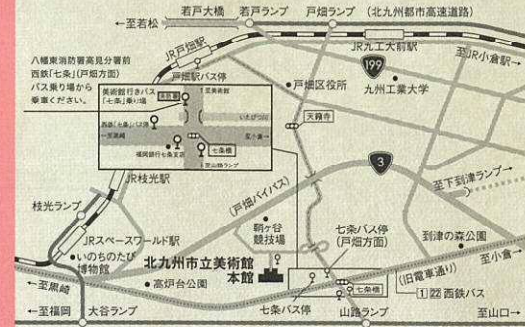
コレクション展 II
特集 Re:1993
guest room 008 ナウィン・ラワンチャイクン
8月26日(土)~12月17日(日)

分館 北九州市小倉北区室町1-1-1 リバウォーク北九州6階
アルフォンス・ミュシャ展 7月15日(土)~8月27日(日)



[交通のご案内] 2020年3月よりシャトルバスを廃止し、直通バスを運行中

【西鉄バス】①「戸畑駅」・「小倉駅入口」(JR小倉駅からモレールに沿って行き、小倉駅前交差点を渡って左、徒歩5分)から7M番乗車、「北九州市立美術館」で下車。②市内各地より「七条」で下車、「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄飛橋門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要6分)。③「西鉄天神高速バスターミナル」から高塚バスいとうつ号(小倉方面行き)に乗車、「七条」で下車(所要1時間20分)。「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄飛橋門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車。【車】④北九州市都市高速道路・山陽ランプから車で8分。⑤福岡・熊本・長崎方面から九州自動車道「八幡IC」から北九州市都市高速道路へ。⑥山口方面から九州(中国)自動車道「門司IC」から北九州市都市高速道路へ。⑦大分方面から九州自動車道から九州自動車道「小倉東IC」より北九州市都市高速道路へ。【JR小倉駅より】⑧「小倉駅入口」(JR小倉駅からモレールに沿って行き、小倉駅前交差点を渡って左、徒歩5分)から西鉄バス7M番(朝ヶ谷方面行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要30分)。【JR小倉駅より】⑨「西小倉駅前」から西鉄バス7M番(朝ヶ谷方面行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要25分)。【JR戸畑駅より】⑩「戸畑駅」から西鉄バス7M番(砂津行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要25分)。【JRスペースワールド駅・JR枝光駅より】⑪タクシー(所要10分)。【JR黒崎駅より】⑫「黒崎バスセンター」から西鉄バス特快1番、22番(砂津行き)に乗車、「七条」で下車(所要20分)。「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から西鉄バス7M番(製鉄飛橋門行き)に乗車、「北九州市立美術館」で下車(所要6分)。



北九州市立美術館 本館 〒804-0024 北九州市戸畑区西ヶ谷町21-1
TEL:093-882-7777
Kitakyushu Municipal Museum of Art https://www.kmma.jp

